



樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501
発行日 令和6年11月29日

外部人材を活用した探究的な学びを実施しています！



3年次「自己表現」：道庁の出前授業



2年次：養護学校訪問



2年次：外部講師による講話

本校では、課題を自ら発見し他と協働してその解決の方策を考えるという探究的な学びを通して、主体的に学ぶ態度を育成しようとしています。全てを紹介することはできませんが、各年次での取組をいくつか紹介します。

【3年次】

3年選択教科『自己表現』の授業では様々な外部の方とのコラボ授業が展開されています。10月31日には北海道総合政策部計画局の方による「北海道総合計画に係る出前講座」を開催し、緑ヶ丘公園の活性化の方法を考えることにつなげました。

また11月14日には、今年で4回目となる帯広美術館と連携した「対話型鑑賞」の授業を行いました。今年も、とかち芸術文化振興機構代表の松井由孝さんから絵画をお借りし、帯広美術館学芸課長の瀬戸厚志さんに授業をしていただきました。松井さんにも授業に参加していただき、生徒たちはお二方の説明を受けてより深く鑑賞できたようでした。今年も昼休みに『三条美術館』として解放し、芸術に触れるよい機会となりました。関係の皆さん、本当にありがとうございました。

【2年次】

2年次では生徒たちの進路希望を基にした6つ類型（「アート・表現」「地域課題解決」「教育・スポーツ」「SCIENCE & TECHNOLOGY」「看護・医療 & 地域支援」「国際理解・人権」）別での探究となっています。それぞれのテーマに沿った外部講師をお招きし、専門的なお話を伺っています。1日には教育・スポーツ類型の生徒が帯広養護学校を訪れ、インクルーシブ教育について学ぶことができました。12月13日に探究発表会を予定しています。

【1年次】

地域課題をテーマにした8つの探究ゼミ（「国際理解」「医療福祉」「自然科学」「地域振興」「商業経済」「芸術・表現」「教育」「スポーツ」）を展開しています。外部講師にきていただくだけでなく、教育ゼミでは、15日、北海道教育大釧路校の学生たちとZOOMによる交流が行われました。その中で教育課題について質問したり、教育大での学びや生活など多岐にわたる話題が展開されていました。今回対応してくれた学生の中に本校卒業生が2名いて、成長した姿が大変頼もしく思いました。

PTA生徒会対話会開催



8日に生徒会とPTA役員会との対話会が開催されました。生徒会からは小山碧会長をはじめとする8名が出席。PTAからは上垣美喜子会長、大坂正季副会長、そして篠原美由紀総務の3名が出席しました。生徒会から

次年度の学校祭について、バザーの時間延長とパレードや一般公開時の警備等への協力依頼があり、PTA側も「できるかぎり協力したい」と心強いお返事をいただきました。また、より多くの人に楽しんでもらえるにはどうしたらよいか活発な意見交換がなされました。さらに生徒総会でも話題になった下校の際の服装についてPTA役員の方々の意見もいただくことができました。校則については、学校として生徒会と意見交換しながら検討していくことを約束して終了しました。ありがとうございました。

10月の節電運動、目標達成ならず

昨年に引き続き、独自の節電運動～必要のない電気は消しましょう！～を展開しています。今年度も昨年並みを目標としましたが、10月の結果は残念ながら目標は達成できませんでした。

電気料金は、補助があたりてかなり変動するので一概に言えませんが、今月の使用量でみると10%節電したら月に5～6万は節約できます。年間にしたら結構な金額になります。

節電のため日中の廊下などは電気を消しています。どうかご容赦ください。それでも未だに誰も居ない教室に電気がついていることが見受けられます。教室を最後に出る人は電気を消してください。ご協力よろしくお願いします。

	10月
一昨年度	14,136kWh
目標(昨年度並)	15,093kWh
今年度	15,961kWh

第26回 3-3担任・野球部顧問

佐藤 竣 介 教諭

高校3年間という時間の価値を自覚してほしい

◇本気で文武両道目指した高校時代

出身は名寄高校です。ずっと野球一筋でしたが、進学しなかったため道内国公立大学を目指して勉強もそれなりに頑張っていました。当時国公立で一番野球が強かった北海道大学へ進もうとガムシヤに頑張りました。母校には大きめの教室が一つ自習室として解放されていて、平日だけではなく土・日もそこで勉強できました。部活動を引退してからは、放課後、土日と自習室に通って勉強一筋の生活に変わりました。振り返ってみても、あれだけ集中して一心不乱に勉強したことはないです。食事と睡眠以外の時間は勉強をしていました。でも、それは私だけではなくて、一般試験に向かうみんなそうだったと思います。自習室に長く居られるかを競い合いながら勉強していました。先生方も熱心に指導してくれたのがありますが、何より自分たちでなんとかしなきゃいけないという強い思いがあったように思います。ただ単純に田舎の学校で他に頼るものがなかったからかもしれませんけれど。とにかく必死でした。

◇野球に打ち込んだ大学時代

そこまで頑張った受験でしたが、センター試験で失敗しました。失意のうちに道内の私立大学に進学することにしたのですが、入学した大学の野球部は2部の学生が主力のチーム。1部の学生もやれないことはないのですが、練習時間等を考えるとなかなか難しいのが現実です。私の下調べ不足で入学したのは1部。そこで2年になるときに2部に転部することに決めました。大学での野球の練習はどちらかと言えば放任。自分たちでメニューを考えていました。その経験が指導者としての今にも生きています。

ポジションはピッチャーです。1年のハンデはありましたが、それでも

徐々に力をつけ、ようやく出場のチャンスもあろうかと言うときに、突然、投げられなくなったのです。4年生の春合宿でした。いわゆるイップスというやつです。原因はわかりません。せっかくもう一歩というところまできたのに…。本当につらい時間でした。

◇教員としてまだまだ学ばなくては

教員採用試験は受かるものと思っていませんでした。社会人の野球のクラブチームに所属するつもりだったのです。でも幸いなことに合格できました。恥ずかしい話ですが、大学時代は学問はそれほどしっかりやってこなかったもので、一から勉強のし直しです。学問的なことばかりではありません。どう教えたらよいのか、どう伝えたらわかるのか、教授法なども学びました。これは教科でも部活指導でも同じだと思うのですが、何を教えるか、誰に教えるかによってそのアプローチを変えなくてはなりません。理論的に説明するのか、身体にしみこませるようにドリル形式にするのか、そのまま見守っておくのか、声掛けのタイミングは、など一人一人に合った指導が大事だと思っています。私自身ももっと勉強していなくてはなりません。

時間は平等に与えられているとは言いますが、その価値は年代によって違うのです。高校生3年間と、30代・40代の3年間とは全然違うものです。そのことを自覚して、人生の中でも価値の高い今の時間を大切に過ごしてほしいと切に思っています。



インタビュー

きらり

新しく生徒会長になった

2年5組 小山 碧 さん

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。



10月4日に実施した立会演説会後の選挙で信任され、新たに生徒会長として1年間生徒会を引っ張ることになった2年5組の小山碧さんにインタビューしました。

小山さんが生徒会に入部したのは今年の3月。ほぼ1年遅れての入部。中学校でも生徒会執行部の一員として活動していたので

興味はあったということですが、バレエやピアノを習っていてそれと両立できるかどうかずっと悩んでいたら、あっという間に1年が経ちそうになり、「人生は一度きり。やる前に悩むより、やってから悩もう。まあ、何とかかなるだろう」と終業式の日に入部届を出したそうです。自分の性格について「与えられたことは納得するまでやらないと気が済まない性格」だとしつつも、「でも、ホントに抜けててやらかすことが結構あって、いわゆるドジってやつです。友達からも大丈夫？とよく聞かれます」と笑いながら答えてくれました。でも、一途に仕事に打ち込み、周囲とコミュニケーションをとりながら進めていく彼女を見て、前生徒会長の川原さんが

「次の生徒会長やってみない？」と声を掛けるのですから相当な人物だとお見受けしました。

そこでその人間性はどう育まれたのかを聞いてみると彼女は「バレエかもしれません」と言います。「まずピアノとバレエをずっと習っていて、忙しさに対する耐性ができましたし、バレエでは指示されたことをすぐにやらないと『帰れ』と言われてしまいます。それでもできるまで帰らなかったです。もちろんできないことはあります。でもできないのは自分の才能の無さかもしれないけれど、自分から諦めたくない。少なくとも自分が納得するまではやりたい、そう思ってずっと続けてきました。バレエが自分を育ててくれたと思います」とこやかに話してくれました。

生徒会をやって変化はあったか尋ねると「自分から人に話しかけることに抵抗感がなくなりました。そのせいかと思うんですけど、どんどん友達が増えていきました」とにっこり。

新生徒会の動きはInstagramで発信しているそうで、「ぜひ見て下さい」とのことです。

そして、最後に全校生徒へのメッセージ。「生徒会全員で楽しい学校を作ろうと一生懸命ですので、みなさんにもぜひご協力をお願いします」。

これからの生徒会に期待しています！

